旭川市報道依頼

各報道機関　様

KJ00747487
2026年10月30日

発信課	経済部企業立地課
担当者	小野寺　京平
連絡先	電　話　25-9172
	ＦＡＸ　24-7833
	E-mail　kigyoritchi@city.asahikawa.lg.jp

分　　類	イベント･行事［〇］　募集［　］　契約･入札［　］　会議･説明会［　］　その他［　］
日　　程	令和8年11月5日　16時00分　～　令和8年11月6日　17時00分
発表項目 （行事名）	旭川セキュリティシンポジウム2026
概　　要 （趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。）	デジタル技術の急速な進展により、行政DXやデータの利活用が進む一方で、サイバー攻撃の脅威が深刻化しています。 今年も旭川市および上川地域におけるITおよびサイバーセキュリティ意識の醸成、対策の向上、産官学連携強化を図ることを目的としてシンポジウムを開催します。 申込み段階では、参加者・関係者の合計が約180名規模となっています。 日時：令和8年11月5日（木）16:00～19:30 令和8年11月6日（金）10:00～17:00 ※インシデント対応訓練ワークショップは11月5日13:00～15:30 場所：北洋ホール（旭川北洋ビル8階） 内容： 基調講演「狙われる地域企業ー中小企業のためのセキュリティ対策・AI活用・人材育成」 国立大学法人　九州大学　情報基盤研究開発センター 教授　小出　洋 講演1　「世界の農業の頭脳を目指す、ファームノートのAI戦略」 株式会社ファームノート　代表取締役　小林　晋也 講演2　「大阪商工会議所における中小企業のサイバー攻撃対策支援の取り組みについて」 大阪商工会議所　経営情報センター　次長　古川　佳和 講演3　「これからのセキュリティ人材像と育成戦略 ー人材フレームワークを活用した地域実践に向けてー」 情報セキュリティ大学院大学　学長　桑名 栄二 講演4　「経済安全保障をめぐる情勢について」 北海道警察　旭川方面本部警備課　警備課長 その他、詳細はHP：https://asasec.jp/をご確認ください。
添付資料	有 ☑　無 ☐
報道（取材）に当たってのお願い	取材を希望される場合は事前にご連絡ください。
備　　考	【報道関係者お問い合わせ窓口】 旭川セキュリティシンポジウム実行委員会 事務局 E-Mail: asahikawa.sec2024@gmail.com



旭川セキュリティシンポジウム2026開催

ASAHIKAWA SECURITY SYMPOSIUM 2026

NEXT STANDARD FROM ASAHIKAWA

Day1 2026.11.5 (Thu) 16:00 ～19:30
Day2 2026.11.6 (Fri) 10:00 ～17:00

旭川市で、次世代の地域に必要な安心安全とはを語る

【特別企画】
日本シーサート協議会(NCA)
インシデント対応訓練ワークショップ
日時 ： 2026年11月5日（木）（受付開始 12:45～）
費用 ： 参加無料

今年も旭川市および上川地域におけるITおよびサイバーセキュリティ意識の醸成、対策の向上、産官学連携強化を図ることを目的としてシンポジウムを開催します。第一回目となる2025年10月30日(木), 31日(金) のシンポジウムでは、162名の参加者が来旭。全国を上回るペースで人口が減る北海道だからこそ、いち早く次の時代に必要な安心安全な地域について語り合い、地域のセキュリティのスタンダードを切り拓く、新しいアイデアの種と仲間との絆が生まれるシンポジウムです。

イベント概要

場所：北洋ホール（北海道旭川市4条通9丁目 旭川北洋ビル 8階）
定員：150 名
受付開始：Day1 2026年11月5日（木曜日） 15時～
：Day2 2026年11月6日（金曜日） 9時～
参加費 ：北海道内に在住/勤務の方 ¥8,000（税込）※情報交換会を含む
北海道外の方 ¥10,000（同上）
※北海道内の学生無料
~~申込方法：絶賛販売中※公式サイトからPeatixにてお申込みください~~

公式サイトは
こちら▼

主催：旭川セキュリティシンポジウム実行委員会

講演プログラム



11/5（Thu） 16:15-17:00

狙われる地域企業―中小企業のためのセキュリティ対策・AI活用・人材育成

小出 洋 氏／国立大学法人 九州大学 情報基盤研究開発センター 教授

サイバー攻撃の標的は大企業だけではありません。サプライチェーンの弱点として、地域の中小企業が真っ先に狙われる時代です。生成AIは人手不足に悩む地域企業の武器にも、新たなリスクにもなり得ます。県警サイバー犯罪対策アドバイザや社会人向けセキュリティ教育の経験を交え、明日からできる対策とAIの上手な使い方、地域で守りを担う人材の育て方をお話しします。



11/6（Fri） 10:00 -10:45

世界の農業の頭脳を目指す、ファームノートのAI戦略

小林 晋也 氏／株式会社ファームノート 代表取締役

現場の課題に向き合いながら培ってきたシステム開発の考え方と、牧場経営を支えるサービスづくりについてご紹介します。さらに、AIエージェントの開発を通じて目指す新たな経営支援や、品質・セキュリティを重視した開発体制について、今後の展望を交えてお話しします。

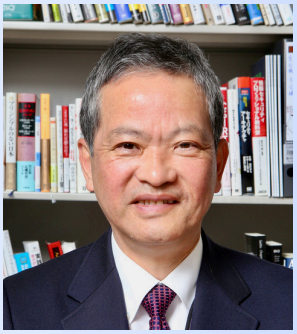


11/6（Fri） 11:30-12:15

大阪商工会議所における中小企業のサイバー攻撃対策支援の取り組みについて

古川 佳和 氏／大阪商工会議所 経営情報センター 次長

お金も人材も不足している中小企業のセキュリティ対策についてどう考えるべきか。 大阪商工会議所にてこれまで行ってきた調査や実証事業などの活動により明らかになった中小企業の実情と課題から、自らが情報システム担当者である立場である知見も加え、地域企業の安心・安全が実現可能なサイバー攻撃対策支援事例を紹介します



11/6（Fri） 14:00-14:45

これからのセキュリティ人材像と育成戦略 ― 人材フレームワークを活用した地域実践に向けて ―

桑名 英二 氏／情報セキュリティ大学院大学 学長

サイバーセキュリティ人材の課題は、人数不足からスキル不足へと構造的に変化し、AIを含む技術変化により、求められるスキルセットが拡大している。本講演では、国内外の人材調査とサイバー人材フレームワークを手がかりに、いま求められる人材像と育成の方向性を述べる。あわせて、セキュリティ専門大学院で学ぶ社会人学生の問題意識や関心領域にも触れ、地域・中小企業における人材確保と育成の課題、今後の取り組みの方向性を考察する。

11/6（Fri） 15:45-16:30

経済安全保障をめぐる情勢について

北海道警察 旭川方面本部警備課 警備課長

我が国では2022年、自立性の向上を柱とする「経済安全保障推進法」が成立しました。技術情報が流出した場合、他国で軍事転用される等、日本の安全保障上のリスクとなります。これを未然に防止するため、日本では現在、官民一体となり経済安全保障に取り組んでいるところ 、警察では、企業・アカデミアに対し、実際の検挙事例、情報流出の実態や未然防止対策等について情報提供するアウトリーチ活動を推進しています。

メディア関係者各位・記事執筆用取材ファクトシート

「旭川セキュリティシンポジウム 2026」メディアファクトシート

～地域企業の DX・サイバーセキュリティ対策と産官学連携による最新知見～

【資料概要】
本資料は、地元の新聞・経済誌・ウェブメディア等の記者・編集者の皆様が「旭川セキュリティシンポジウム 2026」に関する記事執筆や取材企画を立案される際に必要な情報をまとめた公式ファクトシートです。

1. シンポジウムの概要と実績（背景・過去の参加動向）

開催の背景と目的

デジタル技術の急速な進展により、行政 DX やデータの利活用が進む一方で、サイバー攻撃の脅威は年々深刻化しています。特に地方の中小企業は大企業のサプライチェーンの弱点として狙われる事例が増加しています。
全国を上回るペースで人口減少が進行する北海道・上川・旭川地域において、産官学が連携して IT・サイバーセキュリティ意識の向上と対策強化を図り、「安心・安全な地域社会」に向けた新たなアイデアとネットワークを創出するプラットフォームとして、本シンポジウムを開催しています。

これまでの開催実績

・**2024 年 11 月 1 日（プレイベント）**： 79 組織、125 名が参加（関係者込み、道内 66 名、道外 59 名）。

・**2025 年 10 月 30 日・31 日（第 1 回シンポジウム）**： 75 組織、162 名が参加（道内 96 名、道外 66 名）。

・**参加者属性**： 地域企業の経営者・ビジネスリーダー、行政関係者、教育・研究機関、道内外の IT 関係者、道外のセキュリティ専門ベンダ、学生など、幅広い分野から参加が集まっています。

2. 「旭川セキュリティシンポジウム 2026」開催概要

日程	Day 1： 2026 年 11 月 5 日（木） 16:00～19:30（受付 15:00～ / 特別企画 13:00～）、情報交換会（17:30～19:30） Day 2： 2026 年 11 月 6 日（金） 10:00～17:00（受付 09:00～）
会場	北洋ホール（北海道旭川市 4 条通 9 丁目 旭川北洋ビル 8 階）
定員	150 名（現地開催のみ）
参加費	・北海道内に在住/勤務の方： 8,000 円（税込、情報交換会費含む） ・北海道外の方： 10,000 円（税込、同上） ・北海道内の学生： 無料
特別企画	日本シーサート協議会（NCA） インシデント対応訓練ワークショップ 日時：11 月 5 日（木）13:00～15:30（参加無料・シンポジウム参加者対象）
申込方法	公式 Web サイト経由（Peatix にてチケット販売）
公式 Web サイト	https://asasec.jp/

3. 講演プログラム・登壇者および講演概要

【特別企画】インシデント対応訓練ワークショップ（11/5 13:00～15:30）

・**主催：** 日本シーサート協議会（NCA） 訓練ワーキンググループ

・**概要：** 参加者が攻撃側（Red）と対応側（Blue）に分かれ、机上演習キットを用いてリアルタイムに展開する対話型演習を実施します。あらかじめ用意された正解ではなく、多様な立場での対話を通じて自組織の判断軸を再検証・強化します。

【Day 1】基調講演（11/5 16:15～17:00）

演題： 「狙われる地域企業―中小企業のためのセキュリティ対策・AI 活用・人材育成」

登壇者： 小出 洋 氏（国立大学法人 九州大学 情報基盤研究開発センター 教授）

概要： サプライチェーンの弱点として真っ先に狙われる地域の中小企業に向け、生成 AI のリスクと活用法、明日から実践できる防御策、地域でのセキュリティ人材育成手法を警察での助言経験を交えて解説します。

【Day 2】講演プログラム（11/6 10:00〜16:30）

時間・区分	演題	登壇者	講演概要
講演 1（10:00-10:45）	「世界の農業の頭脳を目指す、ファームノートの AI 戦略」	小林 晋也 氏（株式会社ファームノート 代表取締役）	牧場経営を支えるシステム開発の考え方や、AI エージェントによる新たな経営支援、品質・セキュリティを重視した開発体制と今後の展望について発表します。
講演 2（11:30-12:15）	「大阪商工会議所における中小企業のサイバー攻撃対策支援の取り組みについて」	古川 佳和 氏（大阪商工会議所 経営情報センター 次長）	資金や人材が不足する中小企業の実態を踏まえ、大阪商工会議所での実証事業や自らの情シス担当者としての知見に基づく、実現可能な支援事例を紹介します。
講演 3（14:00-14:45）	「これからのセキュリティ人材像と育成戦略 ― 人材フレームワークを活用した地域実践に向けて ―」	桑名 栄二 氏（情報セキュリティ大学院大学 学長）	人数不足からスキル不足へとシフトするサイバー人材課題に対し、求められる人材像と育成方針を提示。地域・中小企業における人材確保の方向性を考察します。
講演 4（15:45-16:30）	「経済安全保障をめぐる情勢について」	北海道警察 旭川方面本部 警備課 警備課長	経済安全保障推進法を踏まえ、技術流出リスクとその未然防止対策、警察が推進するアウトリーチ活動や企業・アカデミア連携の実態について解説します。

4. 取材ポイント

■ 地域企業の「生存戦略」の提示

サイバー脅威は大企業のみならず、サプライチェーンで繋がる中小企業にとっても大きな経営リスクとなります。資金・人材に限りのある地域企業がすぐに実践できるセキュリティ対策と AI 利活用の具体策が得られます。

■ 実践的なインシデント対応力の習得

日本シーサート協議会（NCA）による本格的なワークショップを通じ、自社の判断軸や対応プロセスの不備・課題を実効的に検証できます。

■ 産官学の強固なアライアンス・交流

初日夕方の情報交換会や協賛企業のブース展示を通じ、北海道内外の IT/セキュリティベンダなどの専門家、行政、大学、地域ビジネスリーダーとの直接的なネットワークが構築できます。

■ 次世代セキュリティ人材の育成と還元

北海道内の学生は参加費無料となっており、先端的なセキュリティ教育や産学連携の現場を体験できる貴重な機会となっています。

5. 主催者情報および取材・お問い合わせ先

・**主催：** 旭川セキュリティシンポジウム実行委員会
・**役員構成：** 大会長：旭川市長、実行委員長：三上 隆（旭川市立大学 学長）、副委員長：旭川工業高等専門学校校長・旭川市最高デジタル責任者（CDO）
・**実行委員会 構成団体：** 旭川市、旭川市立大学、旭川工業高等専門学校、旭川商工会議所、旭川信用金庫、旭川 ICT 協議会、一般社団法人セキュア IoT プラットフォーム協議会、株式会社ラック、サイバートラスト株式会社、株式会社オールワークス、サイボウズ株式会社、アイフル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、旭川市企業誘致推進協議会

【報道関係者お問い合わせ窓口】
旭川セキュリティシンポジウム実行委員会 事務局
E-Mail: asahikawa.sec2024@gmail.com
公式 Web サイト取材お問い合わせ: https://asasec.jp/contact